

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月8日

上場会社名 株式会社栗本鐵工所 上場取引所 東
コード番号 5602 URL <https://www.kurimoto.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊本 一高
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史 (TEL) 06-6538-7719
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	95,268	4.1	6,900	25.4	7,030	27.1	4,988	30.3
2023年3月期第3四半期	91,481	19.5	5,503	124.4	5,531	119.2	3,827	138.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,602百万円(43.9%) 2023年3月期第3四半期 5,281百万円(215.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	412.49	—
2023年3月期第3四半期	313.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	151,932	78,620	51.1
2023年3月期	145,164	72,963	49.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 77,657百万円 2023年3月期 71,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	124,000	△0.7	7,500	9.6	7,500	9.2	5,100	7.9	421.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	12,798,490株	2023年3月期	13,098,490株
2024年3月期3Q	677,631株	2023年3月期	889,485株
2024年3月期3Q	12,093,769株	2023年3月期3Q	12,205,268株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2024年3月期3Q32,475株、2023年3月期3Q42,822株、2023年3月期42,822株)が含まれています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替変動、資源価格の高騰や物価上昇の影響がありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、依然として経済情勢は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、企業価値の更なる向上と経営基盤強化のため、原価低減活動や営業活動の強化に努め、事業展開を図っております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、「機械システム事業」にて売上高が減少しましたが、「ライフライン事業」「産業建設資材事業」において売上高が増加したことにより、前第3四半期連結累計期間比3,787百万円増収の95,268百万円となりました。

損益面では、売上高の増加、売上構成の変化に加え原価低減活動の効果もあり、営業損益は、前第3四半期連結累計期間比1,397百万円増益の6,900百万円の利益、経常損益は、前第3四半期連結累計期間比1,498百万円増益の7,030百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第3四半期連結累計期間比1,161百万円増益の4,988百万円の利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門において売上が堅調に推移し、バルブ部門において大型案件の売上高が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比5,101百万円増収の50,212百万円となりました。

営業損益につきましては、増収に加え、原価改善も進んだことなどにより、前第3四半期連結累計期間比1,433百万円増益の4,210百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、素形材部門において破碎機及び部品の売上高が増加し、機械部門において前第3四半期連結累計期間に売上高が集中した反動でプレス機器、プラント案件等の売上高が減少したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比3,519百万円減収の21,128百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門が減収となった影響などにより、前第3四半期連結累計期間比332百万円減益の1,406百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において工場案件向けの空調製品の売上高が増加し、化成品部門において電力向け製品の売上高が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比2,205百万円増収の23,927百万円となりました。

営業損益につきましては、増収に加え、高付加価値製品の売上比率の増加などにより、前第3四半期連結累計期間比718百万円増益の1,775百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、仕掛品が増加し、投資有価証券の時価が上昇したことなどにより、前連結会計年度末比6,768百万円増加の151,932百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加しましたが、短期借入金、未払法人税等、引当金などが減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,111百万円増加の73,311百万円となりました。

純資産につきましては、配当金支払いによる減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比5,657百万円増加の78,620百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました業績予想を以下のとおり修正いたします。

売上高につきましては、「機械システム事業」にて売上高が減少する見込みですが、「ライフライン事業」にて売上高が増加することにより、前回発表の予想を上回る見込みであります。

損益面につきましては、売上高の増加、売上構成の変化に加え原価低減活動の効果などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、前回発表の予想を上回る見込みであります。

2024年3月期の通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年5月12日発表)	120,000	6,000	6,000	4,000	331.88
今回修正予想(B)	124,000	7,500	7,500	5,100	421.47
増減額(B-A)	4,000	1,500	1,500	1,100	—
増減率(%)	3.3	25.0	25.0	27.5	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	124,827	6,840	6,868	4,727	387.27

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,334	20,947
受取手形、売掛金及び契約資産	40,149	38,592
電子記録債権	10,467	13,353
商品及び製品	11,338	11,999
仕掛品	6,246	8,735
原材料及び貯蔵品	3,804	3,838
その他	1,253	1,308
貸倒引当金	△127	△64
流動資産合計	93,466	98,712
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,846	13,926
その他（純額）	19,448	19,397
有形固定資産合計	33,295	33,324
無形固定資産		
その他	1,443	1,258
無形固定資産合計	1,443	1,258
投資その他の資産		
投資有価証券	12,347	15,566
その他	4,838	3,244
貸倒引当金	△227	△173
投資その他の資産合計	16,958	18,636
固定資産合計	51,697	53,219
資産合計	145,164	151,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,353	16,926
電子記録債務	14,257	20,368
短期借入金	19,850	15,500
1年内返済予定の長期借入金	696	447
未払法人税等	2,231	486
引当金	3,253	1,437
その他	6,668	8,253
流動負債合計	62,311	63,420
固定負債		
長期借入金	118	126
引当金	13	10
退職給付に係る負債	8,347	8,274
その他	1,410	1,479
固定負債合計	9,889	9,891
負債合計	72,200	73,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,895
利益剰余金	30,828	34,038
自己株式	△1,778	△1,483
株主資本合計	67,109	70,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,212	6,497
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	198	376
退職給付に係る調整累計額	87	145
その他の包括利益累計額合計	4,498	7,019
非支配株主持分	1,355	963
純資産合計	72,963	78,620
負債純資産合計	145,164	151,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	91,481	95,268
売上原価	69,720	70,824
売上総利益	21,761	24,443
販売費及び一般管理費	16,257	17,543
営業利益	5,503	6,900
営業外収益		
受取配当金	197	217
受取保険金	18	142
その他	217	253
営業外収益合計	434	613
営業外費用		
支払利息	115	132
アレンジメントフィー	-	130
その他	290	220
営業外費用合計	406	483
経常利益	5,531	7,030
特別利益		
投資有価証券売却益	70	-
関係会社有償減資払戻差益	-	18
その他	1	0
特別利益合計	71	18
特別損失		
投資有価証券評価損	-	2
ゴルフ会員権評価損	2	0
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	5,601	7,045
法人税、住民税及び事業税	1,374	1,389
法人税等調整額	321	574
法人税等合計	1,696	1,963
四半期純利益	3,904	5,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,827	4,988

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,904	5,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,008	2,284
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	285	177
退職給付に係る調整額	86	58
その他の包括利益合計	1,376	2,520
四半期包括利益	5,281	7,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,204	7,509
非支配株主に係る四半期包括利益	77	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得に係る事項及び会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却について決議し、2023年8月31日までに自己株式242,400株を取得し、2023年8月31日付で自己株式300,000株の消却を実施しております。

また、2023年9月28日開催の取締役会決議に基づき、当社の発行する普通株式を、クリモト従業員持株会の会員に対し、特別奨励金として支給するインセンティブ制度の導入を決定し、2023年12月27日付で、クリモト従業員持株会を処分先とする第三者割当による自己株式144,200株の処分を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が564百万円減少、自己株式が279百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	45,111	24,648	21,721	91,481	—	91,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86	66	33	186	△186	—
計	45,197	24,714	21,755	91,667	△186	91,481
セグメント利益	2,777	1,739	1,056	5,573	△70	5,503

(注) 1 セグメント利益の調整額△70百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△61百万円及び棚卸資産の調整額△25百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	50,212	21,128	23,927	95,268	—	95,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	74	12	167	△167	—
計	50,294	21,202	23,939	95,436	△167	95,268
セグメント利益	4,210	1,406	1,775	7,393	△492	6,900

(注) 1 セグメント利益の調整額△492百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△83百万円及び棚卸資産の調整額△422百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。